

日本農業工学会第154回理事会議事録

日時：平成28年4月12日（火） 15：00～16：40

場所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者：大政会長、塩沢副会長、北野理事、川越理事、池口理事、野口理事、羽藤理事、岸田理事、町田理事、三澤監事、山路監事、東城事務局長

陪席者：武石事務局

資料1 第153回理事会議事録（案）

資料2 平成27年度フェロー推薦一覧

資料3 代議員の推薦依頼および推薦者一覧

資料4 平成27年度収支決算（案）

資料5 平成28年度事務委託費見積書

資料6 平成28年度収支予算（案）

資料7 第32回総会議案書（案）

資料8 日本農業工学会賞2016受賞講演会・表彰式・祝賀会（案）

資料9 第32回シンポジウム（実施案）

資料10 CIGR World Congress 2022 招致（提案）

資料11 マイナンバーと講師謝金の関係

議事：

1. 第153回理事会議事録の承認

第153回理事会議事録が承認された。

2. 平成27年度フェローの推薦について

塩沢フェロー選考委員長から、4月12日開催した選考委員会において日本農作業学会から推薦された小松崎将一氏がフェローとして適格と判定された旨の報告があった。審議の後、平成27年度フェローとして13名が承認された。

3. 代議員の推薦状況について

東城事務局長より、代議員の推薦依頼と推薦者の説明があった。推薦者全員が第13期代議員として承認された。

4. 平成27年度収支決算について

武石氏より、平成27年度収支決算について説明があり、一部修正を含め

て、承認された。また、会計監査を4月27日に実施することについて、報告があった。

5. 平成28年度事務委託について

東城事務局長より、農林統計協会から提出された平成28年度事務委託費の見積もりについて説明があり、審議の後、承認された。国際会員年会費の徴収停止に伴い、事務委託費が減額となった。

6. 平成28年度収支予算について

東城事務局長より、平成28年度収支予算について説明があり、審議の後、修正案をメール審議とすることが了承された。農業食料工学会からJABEE関係費として提示されている金額は本来の5000円にしてほしいとの提案があり、承認された。

7. 第32回総会資料について

東城事務局長より、第32回総会の議案について説明があり、審議の後、承認された。

8. 日本農業工学会賞2016受賞講演会について

東城事務局長より、5月20日に開催される日本農業工学会賞2016受賞講演会・表彰式・祝賀会について説明があった。受賞講演は一人の講演時間を30分とすることとした。受賞者の略歴を講演要旨集に入れ、講演者の紹介は簡略に行うこととした。

受賞者の業績名を早めに集約して、講演会の宣伝をできるだけ早く開始することとした。また、当日の司会進行等を手分けして分担することとした。

9. 第32回シンポジウムについて

担当学会の野口理事から、第32回シンポジウムについて説明があり、原案の通り承認された。

10. CIGR World Congress 2022 招致について

野口理事から、2022年にCIGR総会を招致することについて提案があり、意見交換の後、承認された。招致に関する幹事学会は生物環境工学会との紹介があった。

11. その他

(1) マイナンバーと講師謝金について

武石氏から、マイナンバー制度の導入により、講師謝金を支払った者から、マイナンバーを提供してもらうことになっているが、謝金の額が年間5万円未満は提出しなくてもよいこと等の説明があった。

(2) 次期事務局長について

大政会長から、次期事務局長について池口理事から内諾をいただいたとの報告があった。

(3) アジア農業工学会事務局について

岸田理事から、アジア農業工学会の次期副会長として野口理事が就任することの報告があった。また、日本が事務局を引き受けることについて検討している旨の説明があった。

(4) 中国農業機械学会の協賛について

岸田理事から、中国農業機械学会から年次大会の協賛団体として日本農業工学会に協力要請があったことについて説明があり、協議の後、協賛することが承認された。

(5) 農業電化協会シンポジウムの協賛について

三澤監事から、9月に予定している農業電化協会シンポジウムの協賛依頼について説明があり、本会の協賛が承認された。

2. 次回予定（155回理事会）

平成28年5月20日（金）10時30分～11時30分

場所：東京大学山上会館2階大会議室

なお、次次回（156回理事会）は8月8日（月）15時から、東京大学農学部で開催することとした。